

47都道府県プロフィール
2023年1月～2023年6月

宮崎県

「特定技能」在留資格の外国人 宮崎と群馬の産地間活用へ協定

2023年03月02日

農業の担い手を確保する新たな取り組みです。

「特定技能」と呼ばれる在留資格の外国人に、繁忙期が冬場の宮崎県と夏場の群馬県の農家で交互に働いてもらおうと、2つの産地と人材サービス会社が協定を結びました。協定を結んだのは、宮崎県農業法人経営者協会と群馬県の孺恋キャベツ振興事業協同組合、それに大阪府の人材サービス会社、ウイルテックです。3つの団体の代表者が1日、宮崎市内のホテルに集まり、「特定技能」という在留資格の外国人の受け入れに関する協定書を交わしました。



<https://www3.nhk.or.jp/lnews/miyazaki/20230302/5060014890.html>

宮崎にベトナム人が多い理由は？農業人材の確保へ県が連携強化

2022年10月22日

宮崎で働くベトナム人は2400人と県内の外国人全体の半数近くを占めています。こうした状況は宮崎だけのものではなく、おとなりの鹿児島でも2021年10月末時点で、ベトナム人の数は4815人と外国人労働者の半数以上を占め、最多となっています。では、なぜベトナム人労働者が増えているのか？ベトナム人の技能実習生を雇っている方にお話を伺うとうとう「勤勉で家族思いという人柄が多い」という印象で、雇うことに関心を抱く経営者が一定数いるそうです。また、すでに宮崎や日本にきたベトナム人実習生がいることで、実習先として選ぶ際も安心感があるということです。SNSなどで宮崎にくる前から連絡をとって、情報を得ている場合もあり、現地でも日本語学校があるなど、既にある程度のルールができあがっているといいます。



<https://www.nhk.or.jp/miyazaki/lreport/article/001/84/>

「産地間人財リレーに関する連携協定」 締結式のご案内

2023年02月15日

株式会社ウイルテック（本社：大阪府大阪市淀川区）、一般社団法人宮崎県農業法人経営者協会および孺恋キャベツ振興事業協同組合は、農産業における各産地の安定生産の確保と外国人特定技能人材の安定した就業環境の構築を目的とした、三者間連携協定を締結いたします。つきましては、下記のとおり、締結式を開催いたしますので、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、本協定の取材を賜りたくご案内申し上げます。



<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000013.000067902.html>

2023年 第1回 外国人材の活躍に関する意見交換会

2023年01月06日

宮崎県における少子高齢化の影響を受け、多くの企業で外国人材の受入れが進んでおり、外国人は企業活動には欠かせない人材となっています。そのような状況で長く外国人材に活躍してもらうためのキャリア支援の必要性は高まっており、来日の目的を「自身のキャリアアップのため」と挙げる外国人材も増えています。

今回の意見交換会では企業の事例から異文化アプローチも含めた外国人材のキャリア支援を考え、長く活躍してもらうためにはどうしたらよいのかを一緒に考えます。

2023年 第1回 外国人材の活躍に関する 意見交換会

企業の事例から考える
外国人材のキャリア支援とは？

2023.1.24(火) 13:30-16:00

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/capatasu/news/learn/2910/>